

# 【農林水産省】

地域材利用促進緊急

利子助成事業

(資源配分事業：間接型)

◎目的

- 政策別コスト情報は、省庁の政策ごとのコストを表示したセグメント情報であり、人件費や事務費を含むフルコストで特定の政策に係る費用を一覧できるようにすることにより、①コストの経年変化や他事業との比較分析を可能とし、②行政活動に関する国民の理解の促進を図ること等を目的として作成・公表しております。一方、政策別コスト情報には一つの政策単位に複数の事業が含まれており、コストの集計単位が大きいためフルコストの分析が難しいといった課題があります。
- 財政制度等審議会財政制度分科会法制・公会計部会に設置した「財務書類等の一層の活用に向けたワーキンググループ」での議論をとりまとめ、平成27年4月30日に公表した「財務書類等の一層の活用に向けて（報告書）」では、『政策別コスト情報の改善』の手段として、個別事業のフルコスト情報の把握をあげております。

「財務書類等の一層の活用に向けて（報告書）」（抜粋）

第2 活用の方向性

(3) 行政活動の効率化・適正化のための活用

インフラ資産台帳の整備やフルコスト情報の把握・活用により、行政活動の効率化・適正化が可能となるのではないかと考えられます。

- 今回『政策別コスト情報の改善』の取組として、代表的な事業についてのフルコストを算定し、公表することとしました。
- この取組により、以下のような効果があると考えられます。

- ① 個別事業ごとに要する人件費や事務費に加え、減価償却費や退職給付引当金繰入額といった現金収支を伴わないコストを含むフルコストが明らかになる。
- ② 国から交付された資金が最終的に国民に行き渡るまでにどのようなコストがどのくらい発生しているのかが把握できるようになる。
- ③ 利用者1人当たりなどの「単位当たりコスト」を算出することにより、事業のボリュームを把握できるとともに、事業の効率性の分析が可能となる。

- 農林水産省の省庁別財務書類や政策別コスト情報の参考情報として、個別事業のフルコスト情報を国民の皆様が開示することにより、国民の皆様が農林水産省の政策に関する理解を深めていただくとともに、農林水産省職員のコスト意識を向上させ、より効率的・効果的な事業の執行に努めてまいります。

## ◎フルコスト情報の見方

### (1) 事業の概要

この事業がどのような内容なのか、誰のためにどのように役立つのか簡潔に記載しています。

### (2) 単位当たりコスト

フルコストをその行政サービスを利用した利用者数などで割って算出しています。事業の大まかなボリュームを把握するための指標となります。

### (3) 地域材利用促進緊急利子助成事業に係る中間コスト（間接経費）

国から交付された資金が最終的に国民に行き渡るまでにかかったコストの総額を示しています。

### (4) 地域材利用促進緊急利子助成事業に係る現金の給付額（発生主義ベース）

国から交付された現金の総額を示しています。

### (5) 中間コスト（間接経費）・単位当たりコストの推移

フルコストの金額及び単位当たりコストの3年間の推移を表しています。

### (6) 中間コスト（間接経費）の性質別割合

フルコストの総額におけるコストの内容の割合について表したものです。当該事業においてどのようなコストの割合が多いのか明らかになります。

### (7) 財務分析

27年度における当該事業に係る取組について財務情報を使って説明します。

### (8) 単位当たりコスト分析

単位当たりコストが増減した要因を分析して説明します。

### (9) 間接コスト率

国から交付された資金の総額に対して、その資金を交付するのにかけたコスト総額の割合です。

政策:4 森林の有する多面的機能の発揮と林業・木材産業の持続的かつ健全な発展

地域材利用促進緊急利子助成事業

○事業の概要

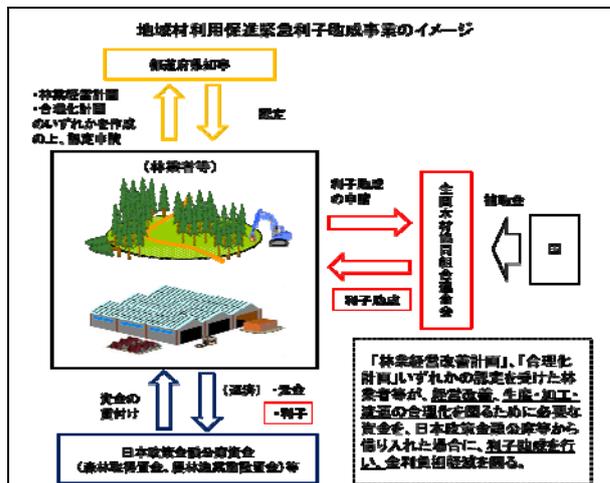
地域材利用促進緊急利子助成事業は、林業の経営改善や木材の生産・加工・流通の合理化に取り組む意欲ある林業者等に対し、日本政策金融公庫資金(森林取得資金、農林漁業施設資金)や民間金融機関の資金(相続等による事業用資産分散防止のための資金)の借入れについて、最大2%の利子助成を行うことで、金利負担の軽減を図る事業です。なお、平成26年度からは、木材価格下落の影響を受けた林業者等を支援するための「林業経営基盤整備緊急利子助成事業」(平成24年度補正予算において創設)が本事業の一部として組み込まれています。

(参考)0.003%(当該事業の国における間接コスト合計/政策区分にかかるコスト合計)

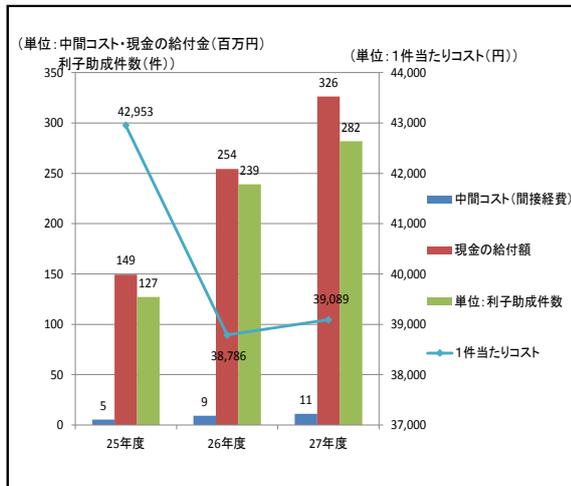
**利子助成件数1件当たりコスト**  
【中間コスト(間接経費) ÷ 利子助成件数】  
39,089 円

**事業に係る中間コスト(間接経費)**  
11 百万円

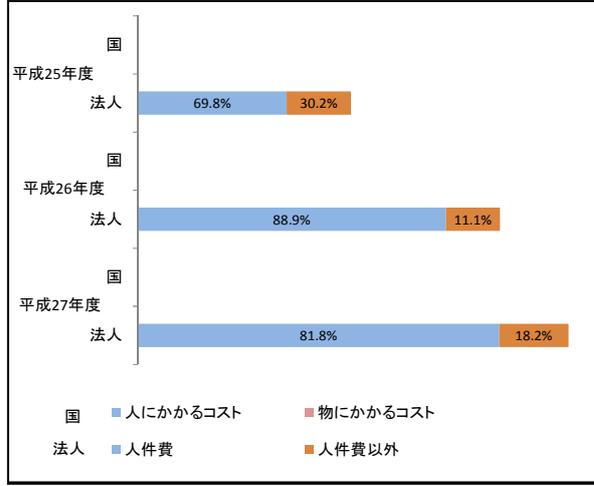
**現金の給付額(発生主義ベース)**  
326 百万円



○中間コスト(間接経費)・単位当たりコストの推移



○中間コスト(間接経費)の性質別割合



1. 財務分析

平成27年度における中間コストの性質別割合は、「人にかかるコスト」が約82%、「物にかかるコスト」が約18%となっています。本事業は、日本政策金融公庫等からの資金借入者に対し、複数年度にわたり利子助成を行うものであり、そのための審査、確認検査等の手続きを厳格に処理し、利子相当分の補助金支払(過年度分に助成決定した分を含む。)の事務を適正に実施するために必要な経費として、人件費の割合が高い構造となっています。平成27年度の中間コスト(間接経費)は、対前年度と比較して、約2百万円増加していますが、この主な要因は、本業務に対する職員の従事時間が増加したことによるものです。

2. 単位当たりコスト分析

平成26年度から平成27年度にかけて、利子助成件数が増加したことに伴い、中間コストも増加したため、単位当たりコストはほぼ横ばいで推移しています。なお、平成25年度から平成26年度にかけて単位当たりコストが減少していますが、これは、平成26年度に「林業経営基盤整備緊急利子助成事業」が本事業の一部として組み込まれたことによって、利子助成件数が大きく増加したことによります。

中間コスト(間接経費)の明細

○国における間接コスト

(単位:百万円)

25年度		26年度		27年度	
I 人にかかるコスト(人員数:0人)	-	人にかかるコスト(人員数:0人)	-	人にかかるコスト(人員数:0人)	-
II ①物にかかるコスト	-	物にかかるコスト	-	物にかかるコスト	-
②庁舎等(減価償却費)	-	庁舎等(減価償却費)	-	庁舎等(減価償却費)	-
III 事業コスト	-	事業コスト	-	事業コスト	-
国における間接コスト合計 (I+II①+II②+III)	-	国における間接コスト合計 (I+II①+II②+III)	-	国における間接コスト合計 (I+II①+II②+III)	-

(注1)人にかかるコストの(人員数)は、フルコスト等算定事業に「主に従事している職員」等の数として、人にかかるコストの算定上用いているもので、個別の事業単位の「定員数」や「実員数」を表すものではありません。

○全国木材協同組合連合会にかかる間接コスト(損益計算書)

(単位:百万円)

25年度			26年度			27年度		
I ①業務費用(人件費)(人員数8人)	4		①業務費用(人件費)(人員数14人)	8		①業務費用(人件費)(人員数9人)	9	
(主な内訳)	金額	構成比	(主な内訳)	金額	構成比	(主な内訳)	金額	構成比
職員給与・職員賞与	2	61.8%	職員給与・職員賞与	5	65.7%	職員給与・職員賞与	7	80.4%
非常勤職員等件費	1	38.2%	非常勤職員等件費	3	34.3%	非常勤職員等件費	2	19.6%
②引当外賞与見積額	-		引当外賞与見積額	-		引当外賞与見積額	-	
II ①業務費用(人件費以外)	2		①業務費用(人件費以外)	1		①業務費用(人件費以外)	2	
(主な内訳)	金額	構成比	(主な内訳)	金額	構成比	(主な内訳)	金額	構成比
需用費	1	39.8%	需用費	1	45.1%	需用費	1	32.4%
旅費交通費	1	37.4%	旅費交通費	0	17.9%	旅費交通費	1	32.4%
振込手数料	0	12.7%	振込手数料	0	27.6%	振込手数料	0	27.8%
その他	0	10.2%	その他	0	9.3%	その他	0	7.4%
②損益外減価償却相当額	-		損益外減価償却相当額	-		損益外減価償却相当額	-	
III (その他)損益外減損損失相当額	-		(その他)損益外減損損失相当額	-		(その他)損益外減損損失相当額	-	
全国木材協同組合連合会におけるフルコスト 合計(I①+I②+II①+II②+III)	5		全国木材協同組合連合会におけるフルコスト 合計(I①+I②+II①+II②+III)	9		全国木材協同組合連合会におけるフルコスト 合計(I①+I②+II①+II②+III)	11	

(注1)「業務費用(人件費)」は、業務費及び一般管理費における人件費を合算しています。

(注2)人にかかるコストの(人員数)は、フルコスト等算定事業に「主に従事している職員」等の数であり、人にかかるコストの算定上用いているもので、個別の事業単位の「定員数」や「実員数」を表すものではありません。

(注3)「業務費用(人件費以外)」は、業務費及び一般管理費における人件費以外の費用を合算しています。

(単位:百万円)

① 間接コスト合計	5	間接コスト合計	9	間接コスト合計	11
-----------	---	---------	---	---------	----

(単位:百万円)

② 現金の給付額(発生主義ベース)	149	現金の給付額(発生主義ベース)	254	現金の給付額(発生主義ベース)	326
-------------------	-----	-----------------	-----	-----------------	-----

間接コスト率(①÷②)	3.65%	間接コスト率(①÷②)	3.65%	間接コスト率(①÷②)	3.38%
-------------	-------	-------------	-------	-------------	-------

○自己収入

(単位:百万円)

25年度		26年度		27年度	
③ 自己収入(国+法人)	-	自己収入(国+法人)	-	自己収入(国+法人)	-

(単位:件)

④ 単位: 利子助成件数	127	単位: 利子助成件数	239	単位: 利子助成件数	282
--------------	-----	------------	-----	------------	-----

(単位:円)

利子助成件数1件当たりコスト(①÷④)	42,953	利子助成件数1件当たりコスト(①÷④)	38,786	利子助成件数1件当たりコスト(①÷④)	39,089
---------------------	--------	---------------------	--------	---------------------	--------

## 【参考】フルコストの算定方法について

地域材利用促進緊急利子助成事業に係るフルコストの算定にあたっては、政策別コスト情報を活用して算定しております。そのため、政策別コスト情報の共通費の配分方法を踏まえて各コストの算定をしております。

### 1. 人にかかるコスト

地域材利用促進緊急利子助成事業が属する政策区分全体の「人にかかるコスト」の金額を、地域材利用促進緊急利子助成事業に配賦するにあたっては、その事業に主に従事していると整理できる「定員数」によって配賦しております。

### 2. 物にかかるコスト

地域材利用促進緊急利子助成事業が属する政策区分全体の「物にかかるコスト」の金額を、地域材利用促進緊急利子助成事業に配賦するにあたっては、その事業に主に従事していると整理できる「定員数」によって配賦しております。

### 3. 庁舎等（減価償却費）

地域材利用促進緊急利子助成事業が属する政策区分全体の「庁舎等（減価償却費）」の金額を、地域材利用促進緊急利子助成事業に配賦するにあたっては、その事業に主に従事していると整理できる「定員数」によって配賦しております。

### 4. 事業コスト

地域材利用促進緊急利子助成事業に係る事業コストとして認識しているコストを計上しております。

### 5. 現金の給付額（発生主義ベース）

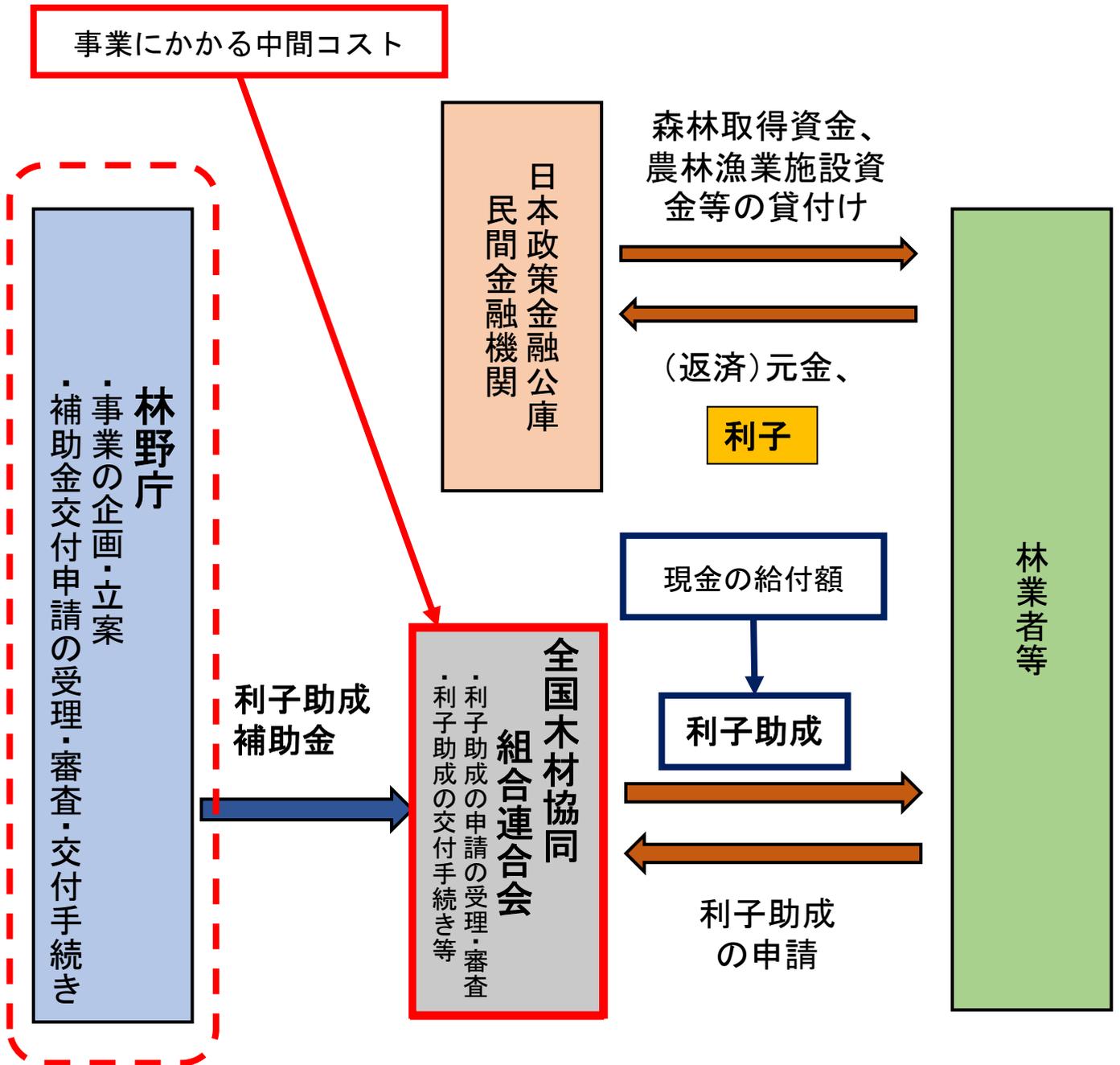
国から交付された資金が最終的に国民等へ行き渡った金額を「発生主義ベース」で計上しております。

### 6. 全国木材協同組合連合会におけるフルコストの算定方法

地域材利用促進緊急利子助成事業は、全国木材協同組合連合会を通じて行政サービスを実施していることから、全国木材協同組合連合会において地域材利用促進緊急利子助成事業を実施するにあたって発生したコストについて計上しております。

地域材利用促進緊急利子助成事業についての問い合わせ先  
農林水産省大臣官房予算課 TEL 03-3502-8111（内線：3167）

# 地域材利用促進緊急利子助成事業の仕組み



(注) 地域材利用促進緊急利子助成事業は、国において当該事業に主に従事する定員がなく、複数の事業を担当する定員のみで業務を行っており、人にかかるコスト等の算定が難しいため、「国におけるフルコスト」は「0」としています。